

IRC Congress 2016 レポート

2016 年 10 月 26 日

日本 IRC オーナーズ協会
会長 平井 昭光

2016 年 10 月 8 日に、イギリスのカウズにある RORC 会議室にて、IRC Congress 2016 が開催されたので、以下の通り、当日行われた議論の概要をご報告いたします。

9:30-16:30

1. IRC overview by Mr. James Dadd

- スタンダードな場合でもチェックはされる。
- スポーツボートについて、少しレーティングを変更した。
- フォイルへの対応については、現在検討中である。
- アウトリガーへどう対応するか、についても現在検討中である。
- ウィスカーポールへ対応した。
- 2016 年度は、少し登録艇が減っている状況にある。
- PHS (Performance Handicap System) を IRS のコンポーネントとして作って、エントリーを広げたら良いのではとの意見もある。
- PHS には PHS としての入り口としての価値がある。
- GBR では IRC ユーザーを増やすための努力をした。例えば、最初の登録年のディスカウントを実施している（日本でも RORC と JSAF が協調して、例えば双方が 10% ずつ負担するようなやり方を考えれば可能 (James Dadd) との意見もあった)。
- IRC をさらに普及させるためには、情熱と can do の精神が必要

2. My IRC に関する説明

- Revalidate ができるのが特徴。
- どの国でもできる。セントラルシステムなので、どの国で行ったのかがわかる。会計システム、バンキングシステムとリンクしている。一旦徴収された費用から、登録国へ適宜費用が一部バックされる。
- 為替、タックスなどの課題はあるので、今後検討を継続する。
- 日本でももっと宣伝したほうが良いと思われる（平井の見解）。

3. 各国からの報告

- US では、現在 ORR と IRC について、Due Diligence をしており、近い将来その結

果を出す予定。US ではたくさんのレーティングが共存しており、ユーザーが困っている状況がある。この DD の結果、方向性が生まれる可能性もある。

- ORR は 800 艇位あり優勢。IRC は non-endorsed がほとんどである。
- オーストラリアでは、エンドースドがほとんど。これは、High integrity をクラブが望むからであろう。マーケティングについては、あまり熱心にやっていない。
- スウェーデンでは、IRC の発行はゼロ。セーラーの数が減少しており、クルーの数が減っている。他方、シングルハンドとかダブルハンドが盛んになってきている。
- ベルギーでは CR があり、現在も活発に使用されている。CR はシンプルであり、技術的な要素が少なく、かつ安価である（20 ユーロ）。
- フランスでは、IRC の登録艇の増加はないものの安定的に推移している。ダブルハンドは増える傾向にある。

4. IRC Rule change

- STL について、実態は変わらないが、より明確にした。
- Aft rigging の数について、物理的な考察をもとに影響を決定し、テキストを変更した。
- Ballast の材質についても修正を加えた。
- クルナンバーの問題（クルーの数を減らしてより低いレーティングを取得することを許すべきか）が大きな議論の的となった。クルーの減少にどう対応するか。それに対する哲学的な対応を決めれば、後はテクニカル・コミッティーの仕事ではないか（Urwin）との意見があった。

5. PSG (Policy Steering Group) マーケティングの話。

- アルゴリズムを秘密にするというやり方が、現在の透明性を求められる世の中で批判が出てきている。
- UMS については、データの交換、SAP プロジェクトなど進んでいるが遅れている部分もある。
- Passport 構想（データの一括交換システム）も進められているが、データセキュリティが大事。
- IRC は ORC からデータインポートができる。逆も可能。

6. ルール 2.6 の変更

- Subjective という内容について削除。誤解を避けるため。

以上